

幼児文化芸術

2018年12月吉日
第17号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園 (天白区)
 - 小幡あさひ幼稚園 (守山区)
 - 志だみ幼稚園 (守山区)
 - とみよし幼稚園 (愛西市)
 - 名古屋西幼稚園 (西区)
 - 鳴海ヶ丘幼稚園 (緑区)
 - 美里幼稚園 (豊田市)
- ※50音順

言葉の豊かマ

「やばい、遅れちゃう」「えー、マジ！」若い人の会話ですが、大人ではありません。中学生？いやいや、昼食後の自由遊びの年長児の会話です。どんな状況だったかは覚えていませんが、男の子同士のやりとりでした。私は、「やばい」とか「マジ」という言葉は綺麗じゃないなあど注意しましたが、キョトンとした表情をして走り去っていききました。

恐らく、何を注意されたのかが分からなかったのだと思います。子ども達の言葉の教科書は周りの大人、テレビなどで、その影響を強く受けます。

『言葉の乱れ』とよく聞きますが、私は社会全体の『言葉(言葉)の貧弱さ』だと思います。自分の想いや考え、感想などを表すためには、文章の構成力、言葉の豊かさなどが必要です。しかし、現実はどうでしょうか。

豊かな感性を伸ばさなければならぬ幼児期から中高生まで、この間にできる限り豊富な言葉、美しい文章、そして美しい言葉に囲まれないといけないのに、実際はだんだん逆方向にいつているように思えます。

世界中を見渡して、大学の授業を母国語で行える国は多くないのだそうです。大学の授業に耐えうる言葉が無いと、授業が成り立たないからだということです。日本語で大学の授業が行えなくなる日がやってくるのではないかと思えてなりません。

とみよし幼稚園 園長 原田大栄

名古屋西幼稚園

金管楽器体験

九月十九日は、文化芸術体験教室「金管楽器」がありました。講師は一宮市消防音楽隊ユーフォニアム奏者の水野彰さんです。

最初は「ユーフォニアム」「バリトン」「トロンボーン」「チューバ」の4種類の金管楽器の名前と音色の紹介がありました。子どもたちは、チューバの音から「ゾウの鳴き声みたいだ！」など、それぞれの大きさや音色の違いを感じていました。

次はトロンボーンのスライド体験とバリトンの音出し体験をしました。トロンボーンの持ち手の部分をスライドさせる感覚を味わいました。音こそ出ないものの演奏している気分を味わいました。

また、バリトンの音出し体験では、なかなか音が出なくて苦戦する園児もいれば、上手に音出しをして褒められる園児もいてさまでした。



最後は、ミニコンサートでした。「おもちゃのチャチャチャ」や「ミッキーマウスマーチ」の曲に合わせて、体を動かしたりノリノリになったりする園児もいて、金管楽器の面白さに魅了されました。

小幡あさひ幼稚園

フラダンス体験

九月下旬にフラダンスの体験を行いました。講師は県内で指導者として活躍していらっしゃる千田初子先生と、アシスタントの鳴海葉子先生です。

まずは先生方によるデモンストレーションです。ハワイアン音楽に合わせてのやわらかな動きに、どの学年もじっと見入っていました。

続いてハワイについて、世界地図を見ながら「ハワイはどこでしょう？」とクイズを出したり、風景の写真を見せたり、ハワイのあいさつは会うときも別れるときも「アロハ」を使うことなどを紹介して、ハワイのイメージが高まったところでした。

初歩的な動きをひとつずつ丁寧に教わりましたが、子どもたちは皆楽しそうに取り組む、最後は曲の一部を踊れるようにもなりました。

あつという間に終わりの時間になり、講師の先生方に子どもたちは口々に「アロハー！」と元気にあいさつをしながらい会場を出て行きました。

この日の降園時、子どもたちや先生たちのあいさつはもろろん「アロハー！」でした。



会員園 トピックス

あつという間に終

わりの時間になり、講師の先生方に子どもたちは口々に「アロハー！」と元気にあいさつをしながらい会場を出て行きました。

Info

第7回 幼児文化芸術祭

日時:2019年3月24日(日)
午前11:15~12:15
場所:愛・地球博記念公園 (モリコロパーク)内体育館
内容:「親子ダンス会」
「第九コンサート」
出演



第6回夏季保育者研修会開催!

各分野の講師の方をお招きし文化芸術707を体験しました。

- * 『仕事への思いを見せる態度と行動』講座~井口 裕子 先生~
- * 『いつも心にハーモニー』歌唱指導~神谷 舞 先生~
- * 『フラダンス』体育指導~千田 初子 先生~

